

日時 平成27年9月16日 14:00～16:00

場所 東久留米市役所 会議室

参加 市役所→青木係長 三上主査

相談支援部会委員→高原部会長 有馬副部会長 吉沢氏 馬場氏 大櫛氏

相談支援事業者→高橋氏（さいわい福祉センター） 貝沼氏（こぶし） 中村氏（グッドライフ）

1. 自己紹介

第一回でメンバーもかわっているので、自己紹介を行いました。

2. 今年度 相談支援部会 内容について

計画相談について

市役所より

- ・進捗率は80%をこえている。モニタリングと更新が課題になっている
- ・モニタリングについては、現状は6か月になっているが、利用者によっては1年でも可能。臨機応変に対応してもらってもいい。ただし、収入が減ってしまう。
- ・相談支援員が少なく、負担が大きいのでは、と考えている

事業所より

- ・更新時、振り返りでモニタリングをしているが、請求は更新の単価しかつかないのは疑問
- ・チェックはしているが、モニタリングの時期がもれてしまう。チェック体制を考えなければいけないが余裕がない
- ・相談支援事業所がいつの間にかかわっていることがあり、把握できない
- ・受給者証がすぐに相談支援事業所にとどかず、請求が遅れることがある
- ・他市の利用者だと、訪問等1日かかり、負担が大きい。単価を考えると全くあわない仕事
- ・今まで利用していた方の計画がおわり、ホッとしたが、すぐにモニタリングになり、新規もあり、おちつかない
- ・請求業務が煩雑になっている
- ・地域で暮らすための計画にはなっていない
- ・システム、単価の見直しが必要

今後として

- ・請求業務等、管理のやり方を検討する
- ・計画書の書き方の事例を検討する

地域の課題

- ・困難事例で、生活歴（愛情不足によるリストカットなど）が問題になっているケースがある
- ・大人になって、問題がでてくるケースがある
- ・グループホームに入っても、病院に行ってしまうケースがある

今後として

- ・事例検討、地域の課題を適宜、課題にしていく
- ・事業所の苦情対策の事例検討など

研修の企画

- ・「計画相談」「障害者の権利を守る」等 提案
- ・テーマ、対象を今後検討する

3. やり方について

部会について

- ・全体会のなかで、部会をどうするか、ということも話し合う。その結果により、検討する
- ・部会のメンバーは、他相談支援事業所も参加できるように広げてもいいのではないか
- ・何か提案があったとき、部会メンバーのなかで準備会を開催し、その準備会メンバー中心で部会を進める

4. 記録について

持ち回りノートで、参加者で順番に記録することについて

- ・委嘱先が記録をつけるべきだと思う（部会メンバーは委嘱ではない）
- ・記録の位置づけがわからない
- ・次回は、ICレコーダーを利用してみる
- ・持ち回りノートをもとに、議事録は、有馬が作成する

次回 11月5日（木） 14:00～16:00 東久留米市役所 2階205会議室